を引き続き
を続けている。

大崎市民病院が2億7900万円減収

コロナ影響 4~7月

大崎市民病院は、新型コロナウイルスによる影響で、今年4月から7月の4カ月間の医業収益が前年と比べて約2億7900万円減収となったことを明らかにした。患者数は入院、外来合わせて約1万6千人減った。

市議会民生委員会が8月26日にあり、コロナ対応や、病院事業決算などを報告した。市民病院によると、今年4月から7月の医業収益は約62億6800万円で、前年同期と比べて4%減となった。外来は約1億7800万円減、7%減と落ち込んだ。

減少要因として、「コロナ感染拡大の状況を受けて、人間ドックや定期健診の受診を控える人が多かった」という。（角津栄一）

会場・冷暖房費 知事に減免要望

舞台技術者協会

新型コロナウイルスの影響でイベントや舞台が相次いで中止され、照明や大道具などを担う事業者が困窮していることを受けて宮城舞台技術者協会が8月26日、村井嘉浩知事に会場費と冷暖房費の減免などを求める要望書を提出した。

同協会の今野芳明会長は、裏方のスタッフは3月からのほとんどが仕事がなく、アルバイトをしている現状を話した。「今のような状況が長く続けば、県内の舞台芸術が衰退し、事業継続も困難になる」と訴えた。

村井知事は「ほとんどイベントを開催していないので、仕事がやりたくてもできない状況が続いているのでは。要望書を読み込み、やれることをしっかりとやっていきたい」とこたえた。（窪小谷菜月）

お知らせ

ひとりで悩まないで！子育て応援ダイヤル「ママパパライン仙台」　9月4、11、18、25日の午前10時～午後4時。相談の電話は、022・773・9140。子育ての悩みや不安などの相談に応じる。せんだい杜の子ども劇場（022・375・3548）。

朝日福祉寄金
03-5540-7446

1万円　栗原市・鈴木慎二さん

◇ご寄付は郵便振替（0013-1-9166　朝日新聞厚生文化事業団）で受け付けています。通信欄に寄付と明記してください。